

第8回松本市西部地域公共交通協議会の開催結果について

1 日時

平成21年7月6日（月）
13時30分～14時30分

2 場所

松本市役所 議員協議会室

3 出席者

松本市政策部長 中澤会長、信州大学 高瀬副会長、松本国道出張所 三木委員、松本建設事務所 米山委員、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山建設課長）、東日本旅客鉄道(株)長野支社 萩原委員、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員、梓川地区町会連合会副会長 塩原委員、島内地区町会連合会 河野委員、島立地区町会連合会 百瀬委員、新村地区町会連合会 吉澤委員（代理山田）、和田地区町会連合会 北野委員、神林地区町会連合会 村上委員、今井地区町会連合会 梶原委員、笹賀地区町会連合会 太田委員、中信地区校長会 唐澤委員、松本警察署 西澤委員（代理熊谷）、長野運輸支局 千村委員、交通政策課 小林委（代理岡沢）、松本地方事務所 竹淵委員、山形村 欠席 芳川地区町会連合会 窪田委員

4 会議事項

- ア 第7回開催結果について（原案どおり承認）
- イ 住民意見交換会の開催結果について（原案どおり承認）
- ウ コミュニティバス実証運行について（原案どおり承認）
- エ その他（原案どおり承認）
 - （ア）次回協議会の開催について
 - （イ）表示板について

5 会議で出された主な意見等

項目	意見等
住民意見交換会について	○意見交換会で、デマンドについて、今井地区では難しいとあり、梓川地区は検討するとあるが、地区によって差があるのはなぜか。 ⇒表記は異なっているが、回答の内容は同じ。梓川地区は西山の移動需要がある所については連携計画に基づいて対応する。 今井地区については、野口は既存の公共交通があるので、それとの競合は難しいということ。 ○今後の計画については、どのように進めていくのか。

	<p>⇒短期間での変更は利用者も混乱するので、10月・1月の意見交換会や乗込み調査で確認して、3月31日まではこのルートで行きたい。</p>
<p>コミュニティバス実証運行について</p>	<p>○8月1日に時刻表を関係地区の全世帯に配布するとの事だが、どのような形でか。 ⇒A2版の大きさで、全線掲載の物を配布する。</p> <p>○必要な情報が分かりやすく、持ち運びの簡単なものが欲しいとの要望はなかったか。 ⇒前は見にくかったので、大きくするという事で納得されていた。ポケット版については、今後、検討したい。</p> <p>○運休する「休日」の解釈については、日曜と祝日でよいか。 ⇒そのとおりでよい。</p> <p>○停留所の表示板について、地区名（島立）をいれてほしい。 ⇒路線名を表記するので、地名はつけない。</p> <p>○テレビでコミュニティバスの成功した例について見た。賛助金や地域定期券の発行による利用者の確保といった事例があったが、松本ではそのような事についてどのように考えるか。 ⇒今後、検討していきたい。</p> <p>○意見交換会に小・中・高校生の意見が反映されているか。土日、連休、祭日のアルウィンへの接続を要望したい。本格運行までにどの程度の変更が可能か。見直しのスパンについてはどのように考えているか。 ⇒見直しは、事後評価を行う1月を考えている。アルウィンへの接続については、実証運行の中で内容を確認していきたい。</p> <p>○毎月実績を確認するのか。協議会の中で実績を報告して欲しい。 ⇒OD調査を兼ねた実績調査を行う。そこで得たデータは資料として提供していきたい。</p>